

第4章 安心安全都市をめざして

第1節 市民の安心

第2節 市民の安全

第1節 市民の安心

1. 相談

■施策の体系

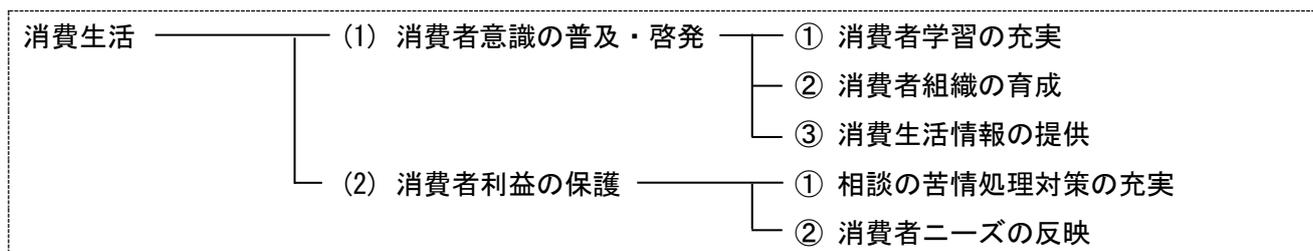
相談 ————— (1) 市民相談を通じた安心な暮らし ——— ① 市民相談事業の充実

■主な現行事業

●市民相談事業

2. 消費生活

■ 施策の体系



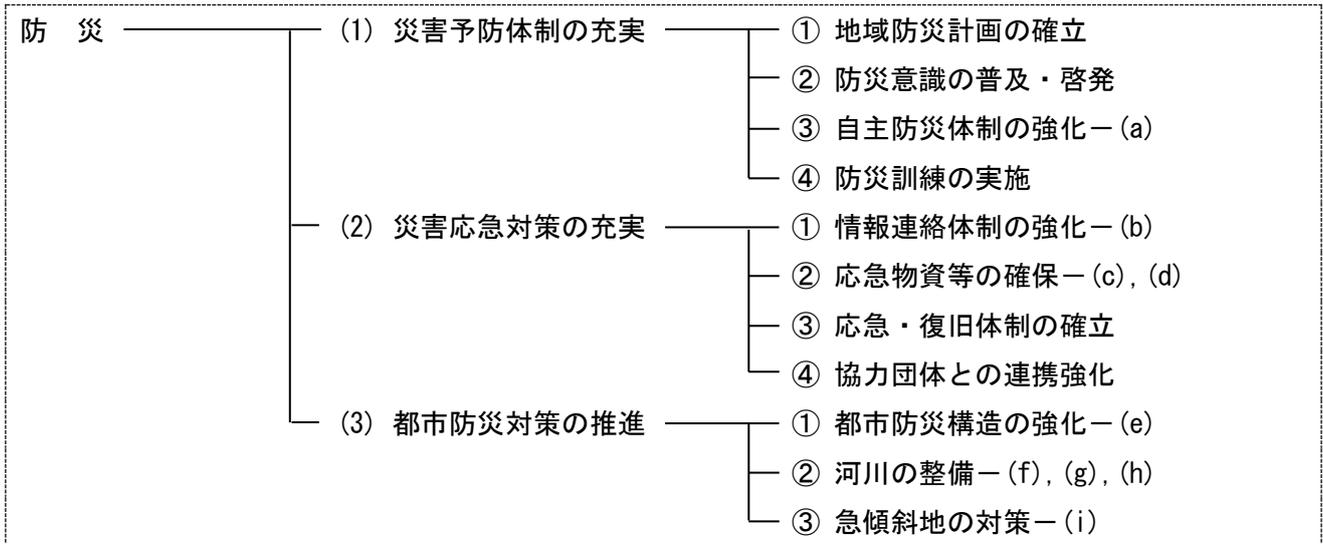
■ 主な現行事業

- 消費者教室開催事業
- 消費者生活情報提供等事業
- 消費者団体育成事業
- 消費生活相談事業

第2節 市民の安全

1. 防災

■ 施策の体系



■ 計画事業

事業名	事業概要	年度計画
		27年度
(a) 自主防災組織創設・育成事業	「自分たちのまちは、自分たちで守る」ことを基本に、自治会などを中心とした自主防災組織の結成・育成を推進するとともに、自主的な防災活動の支援に努める。	助成
(b) 多言語防災・生活情報配信事業 【新規】	再掲(第2章 第7節 1. 多文化共生)	
(c) 災害用物資備蓄事業 【新規】	発災から3日間における被災者等の生命維持に最低限必要な物資を計画的に備蓄する。	整備

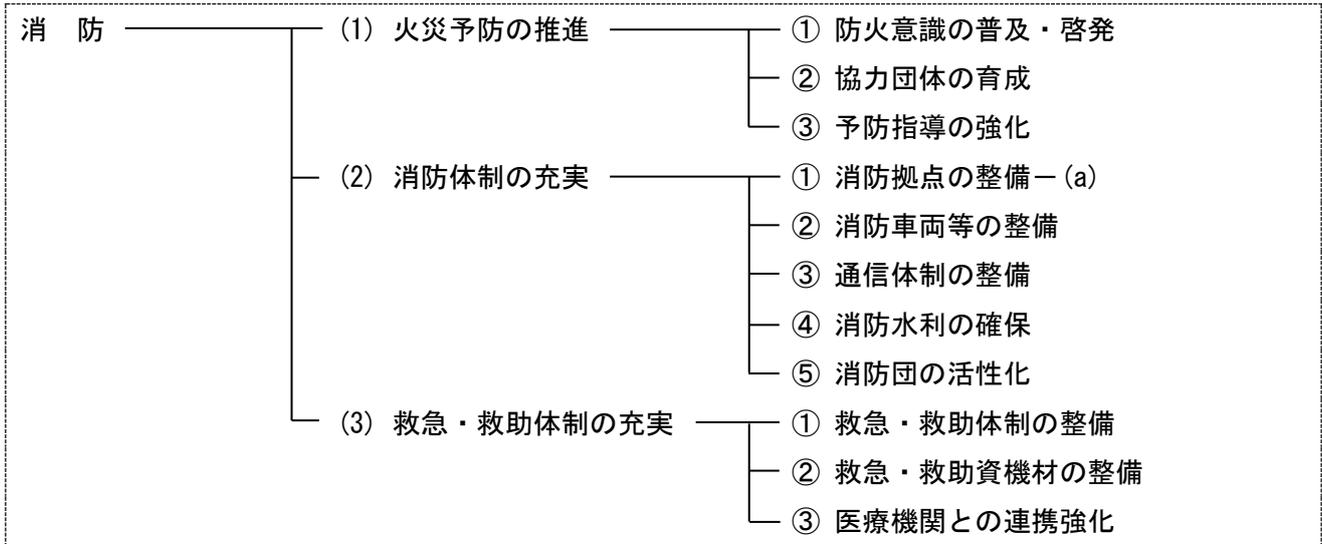
事業名	事業概要	年度計画
		27年度
(d) 保育園環境整備事業 【新規】	再掲(第1章 第2節 1. 児童福祉)	
(e) 地域排水整備事業	集中豪雨等による災害の危険性を少なくするため、地域排水および道路排水施設等の雨水排水施設の整備・改修に努める。	施設管理
(f) 高野川上流排水整備事業	高野川の溢水対策として、高野川および小竹川対策協議会区域の排水路および調整池の整備(佐倉市との共同事業)を行う。 延長:L=1,724m 流域面積:1.42km ²	負担金
(g) 準用河川高野川改修事業	準用河川高野川(平成7年指定)は、準用河川上小竹川(佐倉市域)の上流に位置し、降雨による災害が頻繁に発生していることから、抜本的な改修を図る。 延長:L=1,890m 流域面積:6.86km ²	検討
(h) 勝田川改修事業	勝田川の溢水対策として、千葉市・佐倉市・四街道市・八千代市の4市で設立した勝田川改修協議会により河川改修を行う。千葉市が事業主体となり本市は勝田川改修事業の一部費用を負担する。 延長:L=3,530m 流域面積:19.9km ²	負担金
(i) 急傾斜地崩壊対策事業	(県事業) 急傾斜地の崩壊対策施設の整備を行う。	負担金
	(市事業) 急傾斜地の崩壊対策施設の整備および維持補修を行う。	工事

■ 主な現行事業

- | | |
|----------------|-----------------|
| ● 地域防災計画修正事業 | ● 総合防災訓練事業 |
| ● 防災意識の普及・啓発事業 | ● 気象情報業務事業 |
| ● 防災マップ等作成事業 | ● 災害時協力井戸登録制度事業 |
| ● 自主防災組織支援事業 | ● 防災倉庫等整備事業 |
| ● 避難誘導體制整備事業 | ● 災害時協力協定事業 |

2. 消 防

■施策の体系



■計画事業

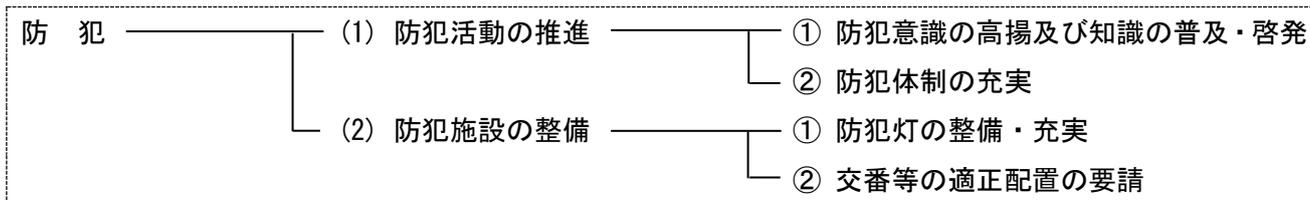
事業名	事業概要	年度計画
		27年度
(a) 東消防署移転・改築事業	庁舎が老朽化し狭隘で、緊急時の出動に支障をきたしている東消防署を移転し、消防署の基準を満たす消防車両を配置できる庁舎、訓練施設や訓練場を整備する。	検討

■主な現行事業

- 火災予防広報事業
- 消防団運営管理事業
- 住宅防火対策推進事業
- 消防指令業務共同運用整備事業
- 防災協会育成事業
- 総務管理事業
- 幼年消防クラブ育成事業
- 救急・救助管理事業
- 防火対象物立入検査指導強化事業
- 救助活動事業
- 車両整備・消防団施設管理事業
- 位置情報通知システム運営管理事業
- 児童・生徒の防火・救命体験促進事業

3. 防 犯

■ 施策の体系

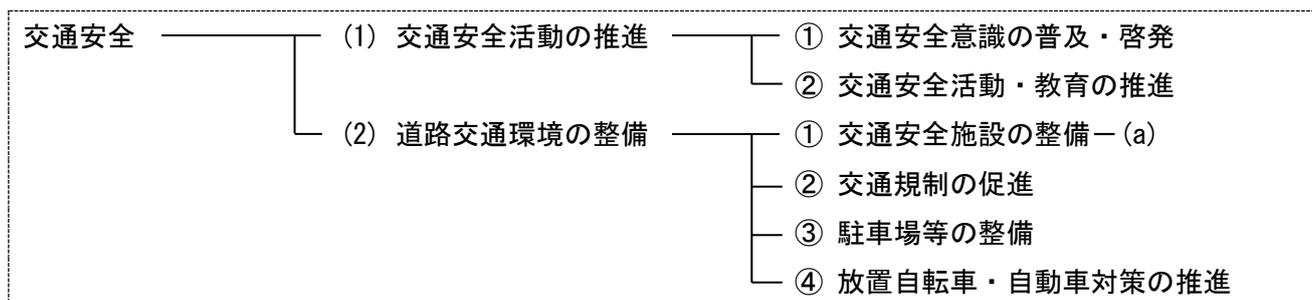


■ 主な現行事業

- 自主防犯組織支援事業
- 防犯情報提供事業
- 防犯車両パトロール事業
- 防犯灯設置事業

4. 交通安全

■施策の体系



■計画事業

事業名	事業概要	年度計画
		27年度
(a)交通安全施設整備事業	交通事故のない安全な生活を確保するため、街路灯、防護柵、区画線、反射鏡などの交通安全施設の整備と維持管理を実施するとともに、バリアフリーなどを考慮し、各施設への安全で快適なアクセスを充実するため、歩行支援施設の整備を行う。	工事設計

■主な現行事業

●放置自転車・自動車対策事業	●交通安全教育・啓発事業
●ゾーン30整備事業	